

祈りを木々のネットワークにのせて

NPO法人 浅間・吾妻エコツーリズム協会 理事長 赤木道紘



私たちは今、未曾有の大災害の最中にあり、受け入れがたい現実と向かい合っています。

被災者の皆様、生き別れたご家族、福島原発で復旧にあたっている方々のことを思うと、気の毒でなりません。

しかし世界一忍耐強く勤勉な私たち日本人は、必ず立ちあがります。そのためにも、直接の被災者ではない私たちはなおのこと、営みを止めるわけにはいきません。今は経済をストップさせてはなりません。これから国をかけての大復興が始まります。しかし努力家が多い日本人は皆、健康を損ねるほどに頑張り過ぎてしまうこともあるでしょう。そんな方々に、せめて森の癒しをお届けできたらと思います。

私たちの周りには、無数の樹木が存在しています。そしてその樹木たちは被災地である東北や関東にもつながっています。この樹木たちが日本の復興と被災者の方々の救済になってくれます。

植物は人間のように会話したり字を書いたりできませんが、フィトンチッドと呼ばれる「他感物質」によって植物どうしで意思の疎通を行っています。それらの一部は私たち動物にとっても“匂い”や“味”で感じることができます。特に樹木は大きな樹体から大量のフィトンチッドを拡散して、互いに情報をやり取りしています。そして森に立体構造を生みだし、時間をかけて確実に周囲の環境を変化させ、その根元や樹上は“森の揺りかご”となって動物たちの命を育ててきました。特にサル類は最も森の木々に愛されている存在ですし、私たち人類もかつてそうでした。

つまり樹木には、同じ空の下であれば、離れていても生き物に対してテレパシーのように通じる能力を持っているということですし、樹木は私たち人類のことが大好きだということです。

…私が何を言いたいのか？

それは、皆さんにお願いがあるのです。この震災で

困っている方や、悲しいことに直面しておられる方々に深い癒しが届けられるように、樹木に向かって祈ってください。葉が茂っている樹木のほうがよいといわれています。葉が祈りの受信・発信の媒体になってくれます。

枇杷の木も常緑樹です。そして大きい樹木であればなおのこと、届けられる量も大きくなります。古く大きな樹木は“ご神木”と呼ばれ、人々の拠りとなって祈られてきたのは、樹木の超能力を昔の人が知っていたからかもしれません。

さらにもう一つ。



樹の葉には浄化作用があります。悪い空気を吸い込み、綺麗な空気にして放出してくれます。現在、テレビやインターネットでは毎日、悲しく不安に満ちた震災や原発のニュースが流れ続けています。森林浴に出かけることができたら一番いいのですが、それができない場合は、樹の葉をイメージするだけでも効果があります。頭の後ろに、大きくて艶のある、例えば6月頃の枇杷の葉を枕に

しているイメージを持ってください。枇杷の葉が悲しみや邪気を吸い取り、周囲の空気を穏やかにしてくれます。

目に見えないものものを信じ、感じる事ができるのが私たちヨガ指導者です。樹木への祈りが被災者の方々に届けられることも、ぜひ実践し、感じていただけると幸いです。△

NPO法人 浅間・吾妻エコツーリズム協会 (申請中)
浅間山麓、軽井沢、嬬恋村、西吾妻などでのエコツアー、ネイチャーガイド、森林セラピー、森林ヨガ、星空観察、草摘み料理などの各種自然体験&ヘルスツーリズムを企画・運営する。
赤木理事長は国際ヨガ協会・北群馬支部にてヨガを実践中(助手)。
<http://ecotourism.or.jp/>